

「日大三と再戦」果たした

都市大等々力 森 恭平主将(3年)



次打者席から笑顔で打者にげきを飛ばす都市大等々力・森恭平主将

都市大等々力は今夏も、日大三との対戦を果たした。昨夏の独自大会は1-8の七回コールド負け。「今年は2点以上取ろう。九回まで戦おうよ」。中堅手で主将の森恭平(3年)は最後までチームメイトにげきを飛ばし続けた。

文武両道をめざす学校だ。練習は週4日に限られ、大学受験に備えて塾に通う選手も少なくない。そんな中、森は家でも1週間あたり1千本の素振りやダッシュ練習をやるようにみんなをまとめた。LINEのグループをつくって週に一度報告しあい、互いに刺激することも狙った。その成果で、打力は上がった。今夏の3回戦は、大量16得点で勝つことができた。

自信が芽生えて迎えたこの日。森

は昨年の日大三戦にも出場し、安打を1本放っている。しかも、昨夏と一昨年夏、出場した全試合で安打を放っている。自身は無安打のまま迎えた五回。2死になり、次打者席で待った。「回ってこい。そして、絶対1本打つ」。だが、打者は空振り三振に倒れた。森はうなずきながら整列に向かった。白い歯が見えていた。

五回コールド負け。でも、夏2勝を果たし、目標としていた4回戦に進んだから日大三と再戦できた。

「みんな、がんばった」

明日から対戦相手は「勉強」に変わる。志望校として難関国立大を挙げた。目標を達成した夏。冬も「勝利」をつかみとってやる。(木村浩之)

スリーポイント八王子